



緑の風



平安にタイムスリップ

学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

大仙市教育委員会・教育長等訪問

あられが無い降りる9日(月)、大仙市教育委員会の吉川正一教育長さんを始めとする、8名の皆様に全学級の授業をご覧いただきました。授業や生活のこと、学校施設のこと等、それぞれの専門的な立場から、様々なアドバイスをいただきました。

安定していてとてもよい学校なので、大仙市をリードする学校として、次のステージへとつなげるための、レベルの高いご助言もいただきました。子どもたちのよさを生かして、さらなる成長を図っていきたく、思いを新たにしました。



授業等について

- 上の学年のじっくりと考える姿や、下の学年の元気に学び合う姿がとてもよい。
- 教室の環境が、ユニバーサルデザインの視点を生かしてスッキリしている。
- ▲全体的におとなしい。覇気がない場面もあった。
- ▲学習の規律が身に付いていない子どもが気になる。
- ▲もっと子どもが活躍する授業を工夫してほしい。
- ▲聞ける子どもを育ててほしい。
- ・授業には、「先生の笑顔」「ゆさぶり」「(ICTを活用するなどの)ハイブリッド化」が必要である。
- ・SDGsの視点を取り入れた、探究型の総合的な学習プランが素晴らしい。

地域との連携

- 仙北地域でのあいさつ運動は、地域でもその成果が感じられる。
- 地域行事への参加や、公民館の事業への参加に感謝したい。
- コロナ禍でも、学校として、できることをやろうとしていることがありがたい。

家庭との連携

- 家庭との家庭学習の連携が素晴らしい。家庭と学校がつながっていれば、いろんな改善ができるし、新しいものも生みやすい。



あゆみ学級では、芽衣さんと紅愛さんがタブレットに写った行事の写真を見て、自分でコメントを考えたり互いに教え合ったりしていました。これからは、子どもたち一人一人にタブレットが配ばられ、どの学年でも、このような授業が格段に増えていきます。近いうちに、お子さんが、家庭に持ち帰る日も来るはずですよ。私たち大人の、心の準備も必要ですね。時代は動いています！

ついに ようやく 行ってきました 修学旅行

2度の延期と、その後の行き先の変更など、行くまでが大変だった修学旅行が、19人全員の参加で実現できたことは、本当にうれしいし、とてもありがたいことです。
2日間で3万歩の歩く旅でもあり、雪と紅葉の織りなす絶景という、これまでの小学校の修学旅行では想像できない、格別な味わいのある旅行となりました。

1日目 えさし藤原の郷～平泉・中尊寺～宮沢賢治記念館～ホテル花巻



雪と紅葉の感動
岩手路に感動



2日目 賢治童話村～小岩井農場



バーベキューと
遊びに夢中

